

令和4年度 小松市予算のあらまし



市民と共に進める「次世代都市こまつ」を目指して

もくじ

	ページ
1. 予算ってなに？	1
2. 令和4年度の予算はいくら？	2
3. どんない入があるの？	3
4. 予算は何に使うの？	6
5. 借金（市債）はいくらあるの？	9
6. 貯金はいくらあるの？	9
7. 市民一人当たりどのくらいの予算が使われているの？	10
8. 主な施策の概要	11

1. 予算ってなに？（予算の仕組み）

地方公共団体は、新しい年度が始まる前に、1年間（4月1日から翌年の3月31日まで）の税金や補助金などの収入と1年間の行政サービスに使われる金額を見積ります。この見積りのことを「予算」と言います。

Q. どのような予算があるの？

市の予算は、使う目的によって一般会計、特別会計、企業会計に区分しています。

- 一般会計……税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など市の基本的な仕事をする会計です。
- 特別会計……国民健康保険や介護保険など特定の事業をするために、一般会計とは別に保険料など特定の収入を集めて運営する会計です。
- 企業会計……上下水道や病院で、民間企業のように料金収入などの事業収益により運営する会計です。

Q. どうやって予算が決まるの？

市長が予算案をつくり、市議会の審議・議決を経て決まります。1年間の予算で一番最初に決まる予算を「当初予算」といいます。

Q. 年の途中で予算を変えることはないの？

変えることがあります。「補正予算」といいます。当初予算を変更する必要があるときは、市長が予算の変更案をつくり、当初予算と同じく市議会の審議・議決を経て変更します。

Q. 予算を使ったあとは？

年度が終わり、1年間の入ってきたお金と使ったお金の結果を「決算」といいます。

年度が終わった後、会計管理者（お金の出し入れを管理する職員）が決算書を作り、市長が市議会の認定を受けます。

2. 令和4年度の予算はいくら？

Q. 会計別の予算はいくら？

一般会計	469億7,000万円	(前年度比 △19億4,410万円 4.0%減)
特別会計	343億5,900万円	(前年度比 +19億9,940万円 6.2%増)
企業会計	225億9,000万円	(前年度比 + 6億1,260万円 2.8%増)
全会計	1,039億1,900万円	(前年度比 + 6億6,790万円 0.6%増)

【内訳】

(単位：百万円)

		4年度	3年度	増減額	増減率
一	般 会 計	46,970.0	48,914.1	△ 1,944.1	△ 4.0 %
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	9,859.0	9,982.0	△ 123.0	△ 1.2 %
	介 護 保 険	10,325.3	10,140.3	185.0	1.8 %
	公 債 管 理	10,621.7	9,837.3	784.4	8.0 %
	産 業 団 地	1,803.0	755.0	1,048.0	138.8 %
	後 期 高 齢 者 医 療	1,750.0	1,645.0	105.0	6.4 %
	小 計	34,359.0	32,359.6	1,999.4	6.2 %
企 業 会 計	水 道	3,528.1	3,540.7	△ 12.6	△ 0.4 %
	下 水 道	8,914.9	8,844.7	70.2	0.8 %
	病 院	10,147.0	9,592.0	555.0	5.8 %
	小 計	22,590.0	21,977.4	612.6	2.8 %
	合 計	103,919.0	103,251.1	667.9	0.6 %

△はマイナスを表しています

Q. 予算の特徴は？

一般会計・・・歳入（収入）では、市税（税金）が法人・個人市民税の増収見込や感染症対策としての固定資産減免措置の終了などにより前年度比11.1億円の増となっています。一方で、市税増収等に伴い普通交付税と臨時財政対策債を合わせた実質普通交付税が前年度比10.4億円の減となっています。

歳出（支出）では、社会保障費が新型コロナウイルス感染症関連の給付金の減に伴い、前年度比2.5億円減少していますが、障がい児給付費の伸びや子どもの任意予防接種費の充実などにより、通常分は増加しています。

特別会計・・・国民健康保険は、被保険者数の減少見込により前年度比1.2億円の減となり、介護保険、後期高齢者医療は、高齢化の伸展により増加しています。産業団地は、安宅新地区の土地区画整理事業の本格化、花坂地区の用地取得事業により前年度比10.5億円の増となっています。

企業会計・・・市民病院は、血液内科病床の改修等の高度医療の充実、地域医療機関との連携強化やデジタル化推進のため、前年度比5.6億円の増となっています。

3. どんな収入があるの？

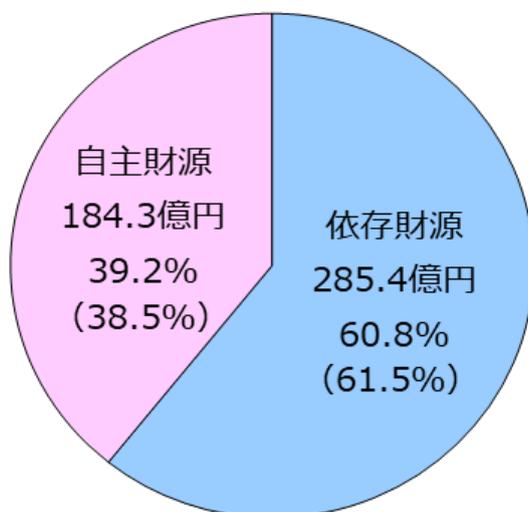
自主財源	市税	皆さんが納めた税金です。	156.3億円
	負担金や使用料	施設の使用料や保育料などです。	7.2億円
	繰入金	年度調整のため、貯金から取り崩す額です。	10.7億円
	諸収入など	資源ごみ売却収入など他に区分されない収入です。	10.1億円
依存財源	国・県支出金	国や県からの補助金です。	125.9億円
	地方交付税	全国で一定の行政サービスを提供するために国や県から	77.6億円
	譲与税・交付金	交付されるお金です。	40.1億円
	市債	銀行などから借り入れる市の借金です。	41.8億円
合計			469.7億円

Q. 自主/依存財源の割合は？

「自主財源」とは、市が自主的に集めることができる財源です。市税、負担金や使用料、繰入金などがあります。

「依存財源」とは、国や県により決定される財源です。国・県支出金、地方交付税、地方譲与税、市債などがあります。

令和4年度予算 自主・依存財源割合



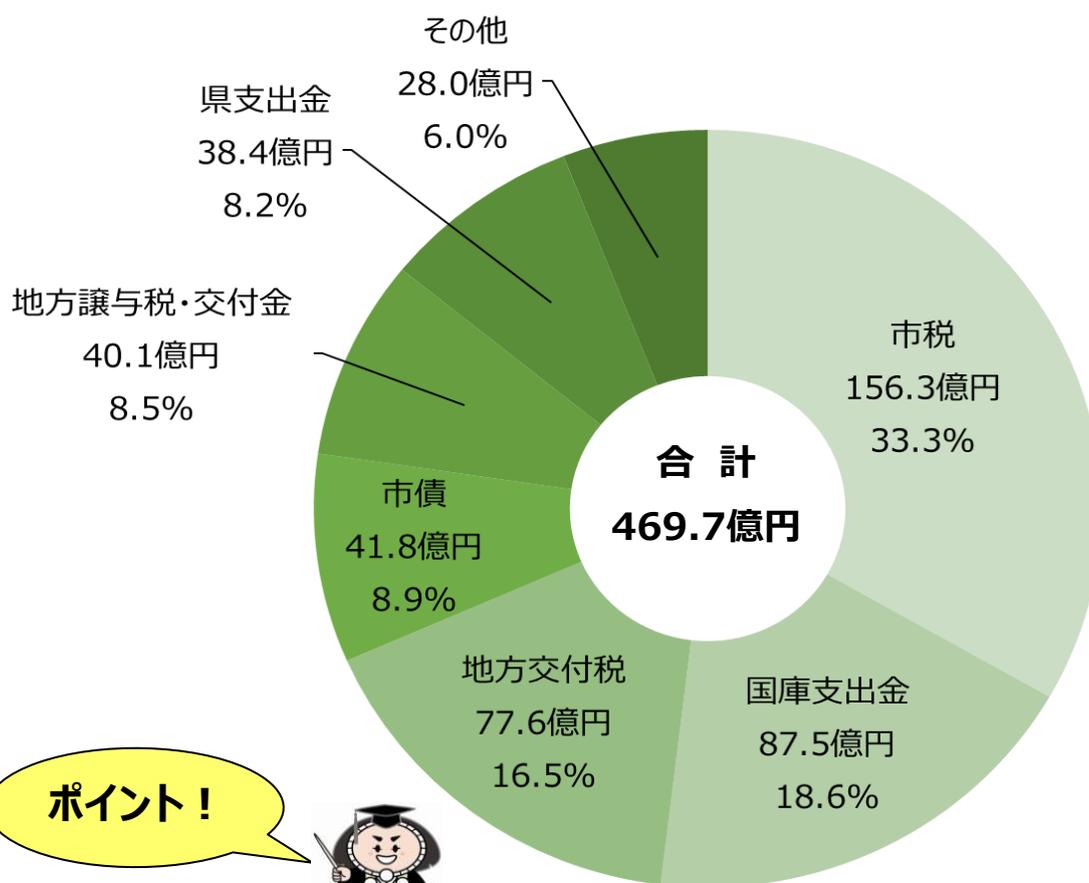
ポイント！

小松市の一般会計の収入のうち、
約4割が「自主財源」です。
約6割が「依存財源」です。



※()内は、前年度の数値

Q. 一般会計収入の内訳は？



ポイント!



- 市民の皆さんが納める税金が、収入の約30%を占めます。
- 地方交付税は77.6億円で、前年度比6.8億円の増となっています。
- 地方譲与税・交付金では、コロナ禍における固定資産税・都市計画税の減免措置の終了に伴い、地方特例交付金が5.3億円減少しますが、地方消費税を始めとする各種交付金が増加し、全体では3.1億円の減となっています。
- 国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の減額により2.1億円の減となっています。
- 市債は臨時財政対策債の減少により17.4億円の減となっています。

・市税の内訳

項目	金額 (億円)	対前年度比
・固定資産税 (土地や家屋を所有している人が納めます)	69.4	+ 7.9%
・個人市民税 (所得に応じて納めます)	56.5	+ 3.3%
・法人市民税 (会社の利益に応じて納めます)	11.0	+ 44.2%
・軽自動車税 (軽自動車を持っている人が納めます)	3.3	+ 6.1%
・市たばこ税 (タバコを買った人が納めます)	6.4	+ 1.4%
・その他 (入湯税や都市計画税)	9.7	+ 5.4%

・国・県支出金

特定の目的（道路をつくるなど）のために国や県から交付されます。

- ・国庫支出金 87億4,928万円 ♡
- ・県支出金 38億3,802万円 ⬇

・各種交付金の内訳

- ・利子割交付金 1,900万円 ➡
- ・配当割交付金 5,600万円 ➡
- ・株式等譲渡所得割交付金 8,800万円 ⬇
- ・法人事業税交付金 3億500万円 ⬇
- ・地方消費税交付金 26億2,700万円 ⬇
- ・ゴルフ場利用税交付金 5,600万円 ⬇
- ・環境性能割交付金 5,500万円 ⬇
- ・地方特例交付金 1億2,000万円 ♡
- ・交通安全対策特別交付金 1,200万円 ➡
- ・国有提供施設等所在市助成交付金 3億500万円 ⬇

・地方交付税

地方自治体の税収の不均衡を調整し、全国どの地域も一定の行政サービスを提供できるように、国から交付されます。金額は、自治体の財政状況によって決まります。

- ・普通交付税 70億8,000万円 ⬇
- ・特別交付税 6億8,000万円 ➡

・地方譲与税

国税として徴収した収入の一部を一定の基準により地方自治体に譲与されます。

- ・自動車重量譲与税 2億4,600万円 ⬇
- ・航空機燃料譲与税 500万円 ♡
- ・地方揮発油譲与税 8,500万円 ➡
- ・森林環境譲与税 3,300万円 ⬇

・その他の収入

- ・分担金及び負担金（保育料など） 1億1,656万円 ♡
- ・使用料及び手数料（施設使用料や住民票手数料など） 6億61万円 ⬇
- ・財産収入（土地などの売却収入や基金の利子など） 1億160万円 ♡
- ・繰入金（基金からの繰り入れ） 10億7,380万円 ♡
- ・繰越金（前年度からの繰り越し） 1千円 ♡
- ・寄附金（個人版・企業版ふるさと納税など） 3億470万円 ⬇
- ・諸収入 6億1,314万円 ♡

Q. 借金をするのはなぜ？

道路や学校などの公共施設の整備には一度に多額の経費がかかります。そのお金を整備する年度の予算だけを使った場合、施設は長く使われるのに整備に必要なお金は、その時の市民だけが負担することになってしまいます。長期に借入れる借金には、将来施設を利用する市民の税金で支払うことにより、世代間の負担を公平にするという役割があります。

◎市債の内訳



4. 予算は何に使うの？

義務的経費

人件費	59億5,378万円	👉
扶助費	111億5,134万円	👉
公債費	58億8,720万円	👉
小計	227億9,232万円	👉

毎年、必ず支出しなければならない経費です。

- ・人件費…職員の給料など
- ・扶助費…子どもや障がい者，高齢者などの福祉や医療にかかる経費
- ・公債費…借金の返済にかかる経費

一般行政経費

物件費	65億113万円	👉
補助費等	36億3,732万円	👉
維持補修費	2億5,671万円	👉
一部事務組合負担金	1億3,464万円	👉
上下水道・病院への交付金	28億9,137万円	👉
小計	134億2,117万円	👉

施設の維持管理費や，行政サービスを行うための事務経費です。

- ・物件費 …光熱水費や消耗品費，通信費など
- ・補助費等…特定の事業や研究を行う公益団体に対する補助金など
- ・一部事務組合負担金…複数の自治体が共同で事務を行う組合に対する小松市分の負担金
- ・上下水道・病院への交付金…事業の公益性から，費用の一部を国の基準に基づき負担する経費

投資的経費

普通建設事業(補助)	35億6,692万円	👉
普通建設事業(単独)	28億9,788万円	👉
小計	64億6,480万円	👉

道路や公園，防災・減災対策など，建設事業にかかる経費

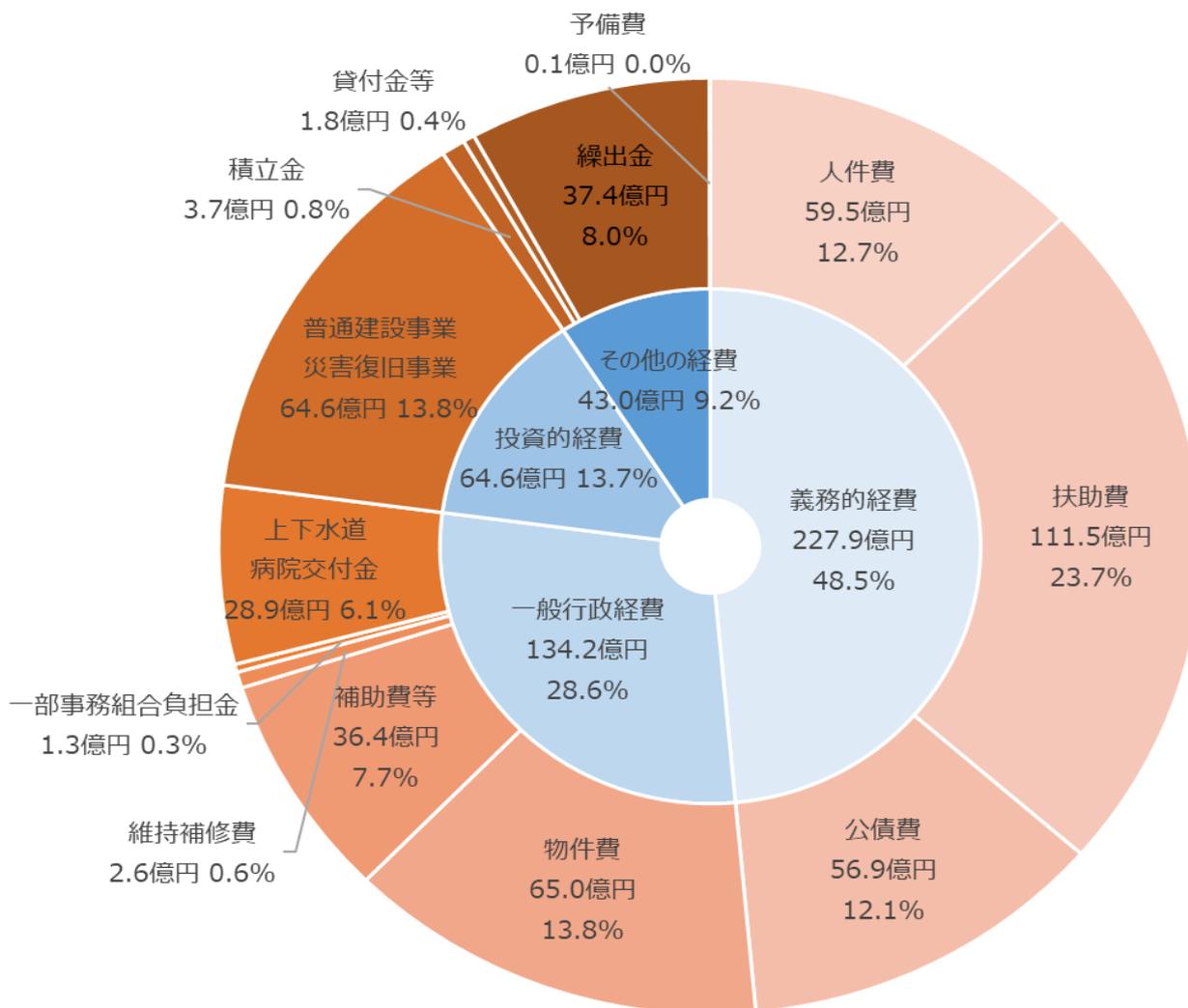
その他の経費

積立金	3億6,581万円	👉
投資及び出資金	1,024万円	👉
貸付金	1億6,771万円	👉
繰出金	37億3,796万円	👉
予備費	1,000万円	👉
小計	42億9,172万円	👉
合計	469億7,000万円	👉

上記以外の経費です。

- ・積立金…基金（市の貯金）への積立
- ・繰出金…特別会計に対し負担する経費
国民健康保険，介護保険，後期高齢者医療等の社会保障にかかる特別会計への負担経費
- ・予備費…災害など緊急に支出が必要となったときのために準備している予算

Q. 一般会計の支出の内訳は？



ポイント！

- 義務的経費は、前年度比9億円の減となっています。
 社会保障費は、障がい児給付費の伸びや子どもの任意予防接種費の充実による増があるものの、新型コロナウイルス感染症関連の給付金の減により、前年度比2.4億円減となったほか、ほっと石川観光ファンドに出資するために借りていた市債償還の減などにより、公債費が5.2億円の減となりました。
- 一般行政経費は、前年度比4.1億円の減となっています。
 物件費は新型コロナウイルスワクチンの3回目接種などにより2.0億円の増、補助費等は5.6億円の減で、学校給食の無償化の対象学年の拡大(中学1～3年生)による増加(1.5億円)があるものの、令和4年度で予定していた新型コロナウイルス関連経済対策を令和3年度に前倒し(6.0億円)したことが大きく影響しています。



① 普通建設事業費

一般会計では、小松駅東広場の受託事業や松東地区こども園整備などの大型事業が完了したことにより、前年度比7.0億円の減となっています。

また、小松市民病院の血液内科病床整備や産業団地用地の買戻し等により、特別会計・企業会計を加えた全会計の建設事業費は、前年度比13.6億円の増となっています。

◎ 普通建設事業費の内訳(一般会計)

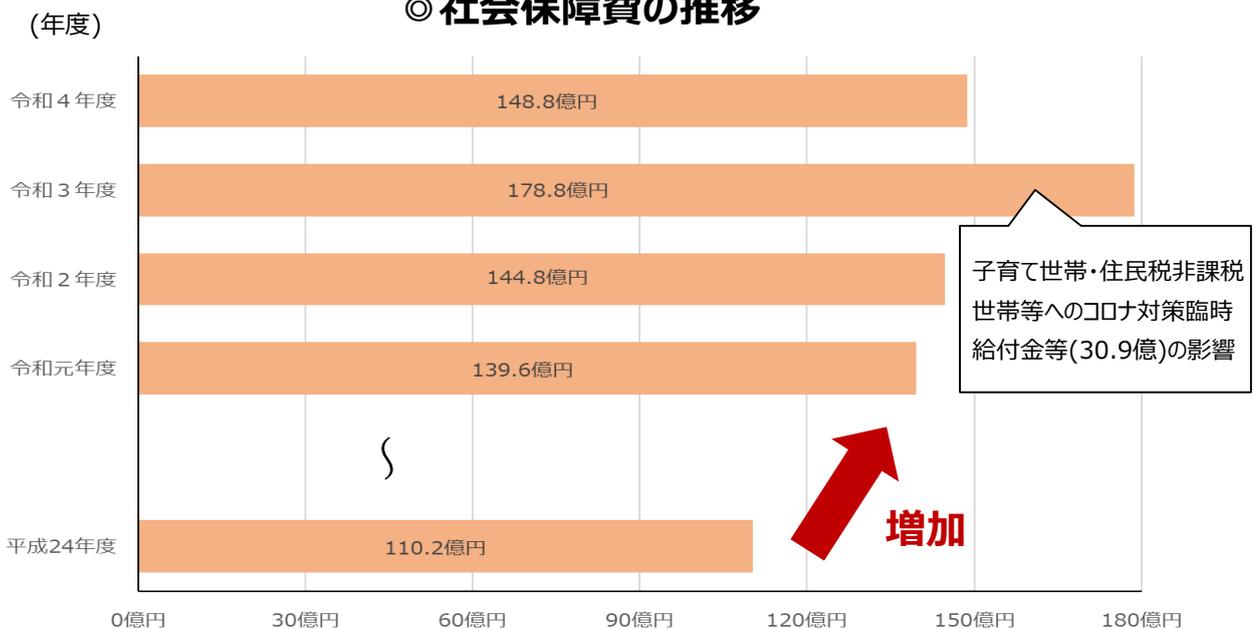


② 社会保障費

少子・長寿社会の進展により、社会保障費は年々増加傾向にあり、10年前と比べると38.6億円増加しています。

平成27年度から実施されている「子ども・子育て支援制度」による認定こども園の増加、令和元年10月に実施された幼児教育・保育無償化に伴う保育料見合い分の交付などによる私立認定こども園・保育所等運営費の増加、障がい者福祉費の増加、介護保険や後期高齢者医療への繰出金の増加などにより、本年度の社会保障費は148.8億円となっています。

◎ 社会保障費の推移

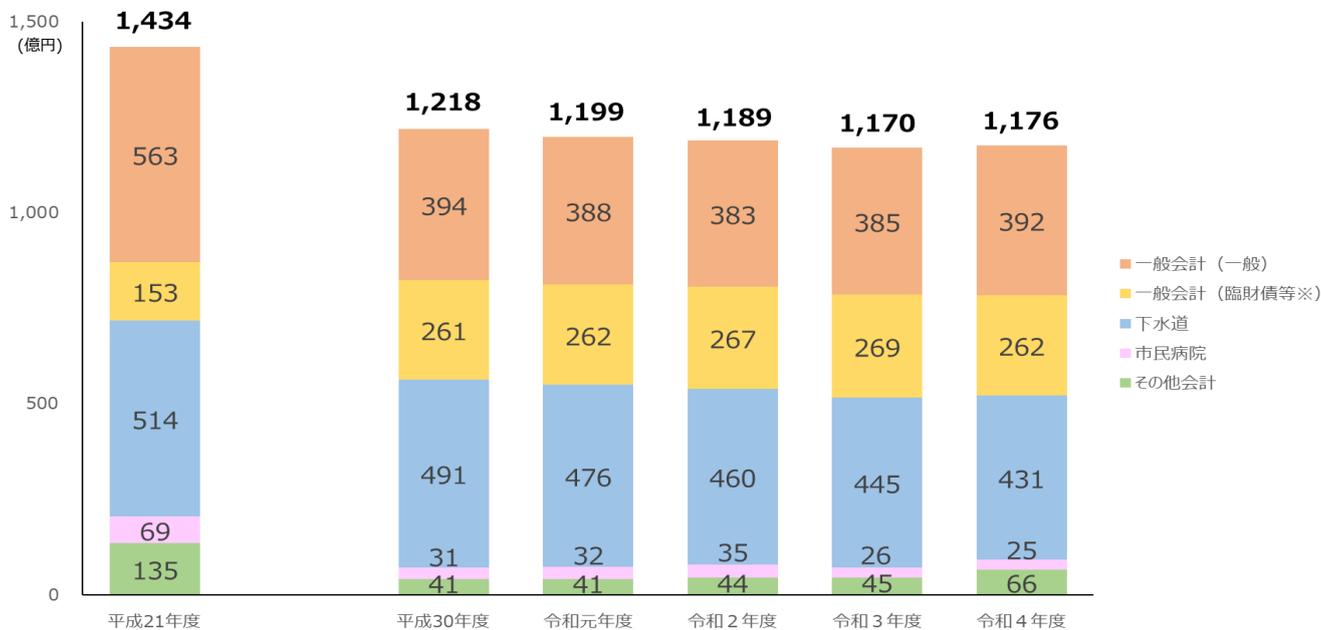


※令和2年度までは決算額，3年度は決算見込額，4年度は予算額

5. 借金（市債）はいくらあるの？

小松市の借金(市債)の残高は、大型事業の償還完了や繰上償還の実施により減少しています。令和4年度末の市債残高見込は、全会計で約1,176億円、臨時財政対策債等を除く実質市債で914億円となっています。

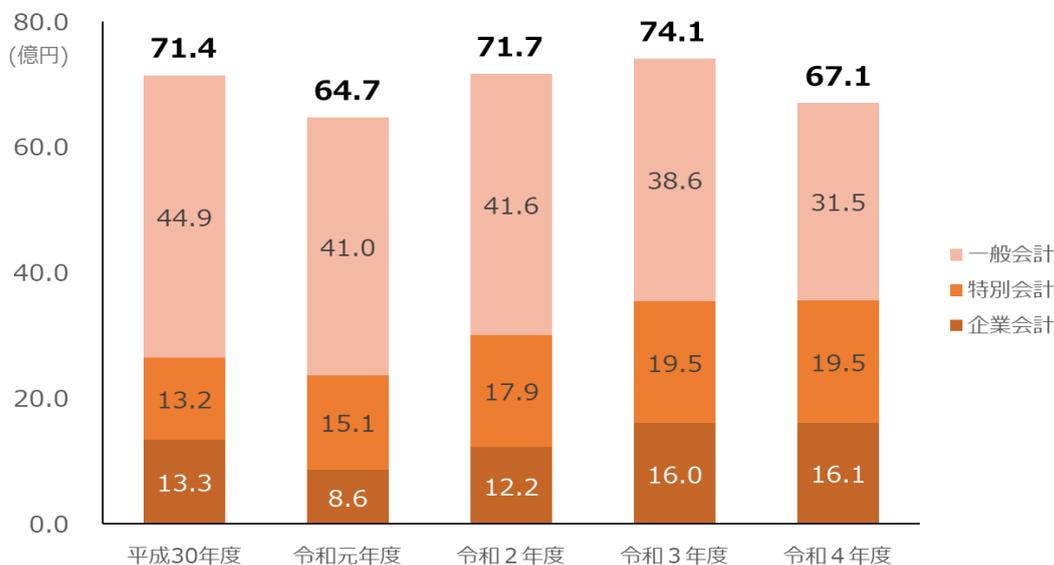
今後も財政健全化を図り、将来負担のさらなる軽減に努めていきます。



6. 貯金はいくらあるの？

令和3年度末の貯金残高見込みは全会計で74.1億円となっています。一般会計では、財源の年度間調整や、将来を担うこどもの成長を促進する事業や障がい者・高齢者福祉の増進、SDGsの推進などに活用するため、貯金額は31億円余りとなる見込みです。

今後も、借金の減少と合わせて突発的な財政需要に対応できるよう貯金の確保に努めていきます。



※令和2年度までは決算額、3年度からは決算見込額

7. 市民一人当たりどのくらいの予算が使われているの？

小松市の市民一人当たりの市税負担額は、146,185円です。これに、市税以外の収入(P3参照)を加えると、市民一人当たり439,444円の事業を行えることとなります。

それでは、どのような目的で予算が使われているか見てみましょう。

一人あたりの市税負担額と予算の使い道

【メモ】

①人口(令和4年1月1日現在)	106,885人
②市税予算額	156.25億円
③市民一人当たり市税負担額 = ②÷①	146,185円
④歳出予算額	469.70億円
⑤市民一人当たり歳出予算額 = ④÷①	439,444円



【予算の使い道】

こども・障がい者・高齢者の福祉など	158,222円
道路・公園整備など	63,545円
借金の返済	53,209円
学校教育の充実、文化・スポーツ振興など	67,616円
健康増進・ごみ処理など	28,407円
庁舎などの維持管理、戸籍・税金の事務など	31,374円
消防や防災対策など	14,802円
農林水産業・商工業振興や観光交流など	18,727円
その他	3,542円
計	439,444円

ポイント！



こども・障がい者・高齢者などの社会福祉に必要な経費が全体の約3分の1を占めています。学校教育の充実、文化・スポーツ振興に要する経費や道路・公園整備に要する経費がこれに続きます。

借金の返済額は高い割合を占めていますが、年々減少傾向にあります。借金の残高や固定的な経費を圧縮し、皆さんのサービス向上に繋がる施策を展開しています。

8. 主な施策の概要

令和4年度の主な事業をテーマ別にお知らせします。

① グローバル時代に時めく日本海側の拠点都市こまつ

≫ 新幹線開業をまちの飛躍に

◇ 駅高架下観光交流センター、駅西広場の整備

小松駅ターミナルプラン推進費 9億1,550万円

◇ 北陸新幹線小松駅構内と観光交流センターを工芸品や美術品で彩り全国に発信

新幹線小松駅「こまつ的美」展示費 2,000万円

◇ 駅東地区複合ビルにおける公共施設整備への助成

小松駅東地区複合ビル整備助成費 2,000万円

[債務負担行為] 1億5,000万円

◇ シェアサイクルの整備や誘客プロモーション

北陸新幹線開業プロモーション費 4,900万円

◇ 好循環を生み出す新交流ビジョンの策定

こまつ新交流ビジョンプロジェクト推進費 250万円

≫ 空港と新幹線駅が近接した稀有な特長を活かして

◇ 新幹線駅-空港間の自動運転バス、小松版MaaSなど、次世代型の交通体系を構築

次世代型地域交通推進費 3,700万円

◇ 幸八幡線を整備(令和4年度完成予定)

幸八幡線整備費 2億3,700万円

[1月補正] 1億7,100万円

◇ 粟津駅東西広場の基本設計、円形交差点交通社会実験など

粟津駅周辺整備費 1億1,700万円

◇ 加賀立国1200年に向け河田山古墳群史跡資料館をリニューアル

加賀国府こまつ歴史の里整備費 1億550万円

◇ 産業観光の推進・日本遺産の振興

産業観光推進費 1,000万円

日本遺産振興費 390万円

◇ スカイパーク共生の丘の駐車場を増設

スカイパークこまつ共生の丘駐車場整備費 3,500万円



小松駅高架下に観光交流センターを整備



幸八幡線の整備(今年度完成予定)

② 子どもたちの輝く未来創造都市こまつ

» 子育てするなら小松で

◇母子手帳交付時の給付金を恒久化

おなかの赤ちゃん給付金費 4,200万円

◇赤ちゃん世帯の見守りに合わせ紙おむつをお届け

赤ちゃん紙おむつ定期便費 1,500万円

◇年収360万円未満世帯の保育料無償化を0～2歳児に拡大(R4年9月～)

私立こども園等運営費 560万円

◇医療的ケア児への支援を開始(こども園・小学校への看護師配置、消耗品費助成)

医療的ケア児等衛生用品等支援費 120万円

医療的ケア児保育支援費 1,118万円

医療的ケア児支援費 1,176万円

◇公立こども園(だいいち、あおぞら)の整備に向けた調査

公立こども園等整備調査費 50万円

◇学校給食無償化を中学1～3年生に拡大

学校給食無償化推進費 1億8,800万円

◇小松運動公園、芦城公園の遊具更新

公園施設リニューアル費 8,830万円

[1月補正]3,100万円

» 学びの環境を充実

◇松陽中・稚松小の改築に向けた調査・協議など

未来の学校づくり費 50万円

◇小・中学校の大規模改造・空調改修など

小学校校舎等改修費 2億2,128万円

[債務負担行為]1億6,570万円

[3月補正]3億2,600万円

中学校校舎等改修費 3億622万円

[債務負担行為]2億3,410万円

[3月補正]3億800万円

◇小・中学校の学校施設・備品の計画的な改善や更新

学びを深める学校づくり費 1,100万円

安全・安心な学校づくり費 5,900万円

◇ICTを活用した教育の推進(AI型教材の導入拡大など)

ICT教育環境推進費(一部) 6,064万円

◇教室に入れない児童・生徒への支援として専任の相談員を配置

ステップルーム支援費 740万円

◇市立高校の校舎の大規模改修

市立高校改修費

2億550万円

[債務負担行為]6,950万円

◇大学等の進学に係る貸与型奨学金(返済免除規定あり)を創設

未来を広げる奨学生支援費(一部)

482万円



月1回赤ちゃん世帯の見守りと紙おむつのお届け



中学生全学年の学校給食を無償化

③ みんなが暮らし続けられる生涯安心のこまつ

≫ 災害に強いまちづくり

◇防災アプリの導入、避難者宿泊施設利用補助金の創設、災害対策室の機能強化など

防災体制強化費(一部)

3,050万円

◇35m級のはしご付き消防自動車の更新

はしご付消防自動車購入

2億5,000万円

◇消防団の出動報酬の引上げ

消防団運営費(一部)

2,220万円

≫ 高齢者・障がい者福祉の充実

◇デジタル技術を活用した自立支援型介護予防の推進

高齢者元気アップ推進費

[特別会計]700万円

通所型サービス費

[特別会計]2,910万円

◇認知症総合相談窓口の設置

認知症対策推進費(一部)

[特別会計]140万円

◇運転免許証自主返納者への継続支援(2・3年目)を開始

防犯交通安全推進費(一部)

360万円

◇企業向け講習会開催など、障がい者の就職支援を充実

はたらく障がい者支援費

850万円

◇市庁舎東口に屋根付き身体障がい者用駐車場を整備

庁舎管理費(一部)

1,650万円

≫ 医療・保健の強化・充実

◇市民病院に血液内科病床を整備

施設整備費(一部)

[企業会計]2億7,800万円

◇地域医療人材の育成支援(小松准看護学院の校舎整備と運営への助成)

一般経費 200万円
[3月補正]1,600万円

◇子宮頸がんワクチンの接種勧奨と接種機会を逃した人へのキャッチアップ接種の実施

予防接種費(一部) 6,100万円

◇新型コロナワクチン3回目接種の推進

新型コロナウイルスワクチン接種費 2億4,000万円

◇PCR検査などの助成、抗原検査キットの備蓄

感染症予防対策費 600万円

» **住まい・暮らしの充実**

◇空き家バンク成立報奨金の導入など定住人口の増加対策を推進

定住促進費 7,000万円

◇花坂配水池の耐震化(実施設計)

配水施設拡張費(一部) [企業会計]3,500万円

◇生活道路・排水路などの整備

交通安全施設整備費 5,100万円

市単道路整備費 1億円

道路整備費 1億5,000万円

道路改良舗装費 6,500万円

通学路整備費 4,100万円

町内道路改良舗装費補助金 4,000万円

都市排水路整備費 1億7,000万円

◇主要道路の整備(金屋花坂線、島田蛭川線など)

特別道路整備費 1億5,600万円

[1月補正]4,000万円

県営道路改良舗装費負担金 1,900万円

今江春日神社線外1路線整備費 3,400万円

[1月補正]5,750万円

県営街路整備費負担金 1億2,000万円

◇行政手続きの申請ができる郵便局の拡大

一般経費(一部) 120万円



最新技術を搭載したはしご車を導入



デジタル技術を活用した介護予防の推進

④ ものづくりが誇りの産業創生都市こまつ

» 産業誘致の推進と地域産業の高度化

◇安宅新地区産業団地を整備(令和4年度完成予定)

安宅新地区土地区画整理費

[特別会計]17億1,500万円

[1月補正]3億3,600万円

◇新産業団地造成に向けて適地調査を実施

新産業団地調査費

350万円

◇企業誘致活動の推進、企業立地助成金、サテライトオフィス立地助成金

企業誘致推進費

1億300万円

サテライトオフィス立地推進費

1,000万円

◇市内企業の経営革新に対して支援(14カ月予算として対応)

産業競争力強化費

[1月補正]2,500万円

» 産業誘致の推進と地域産業の高度化

◇第1次産業に注力し、地元農産物のブランド化を推進

こまつもんブランド推進費

340万円

◇学校給食に小松産ブランド米や旬の野菜を提供

地産地消・食育推進費

300万円

◇中山間地域の農業者支援(機械更新、農地・水路などの維持管理)

強い農業ひとづくり支援費(一部)

210万円

日本型直接支払費(一部)

200万円

» 新型コロナウイルス感染症経済対策

◇新型コロナウイルス感染症経済対策費

売上が減少した全業種の事業者へ支援金を給付

[1月補正]3億円

市内への宿泊に対し割引を実施

[1月補正]1億円

コロナ対策を実施している店舗を支援

[1月補正]3,000万円

JA小松市と連携し、次期作付け用の苗購入費を支援

[1月補正]7,000万円

タクシー・運転代行業を支援

[3月補正]1,200万円



安宅新地区に産業団地を整備



持続可能な力強い農林水産業を目指して

⑤ 自然が映え文化が息づくふるさとこまつ

» ゼロカーボンシティ実現に向けて

◇住宅用断熱窓、再生可能エネルギー設備の設置補助、地域環境活動の支援など

SDGs未来都市推進費 2,050万円

◇公用車の更新時期に合わせ、電気自動車に更新

公有財産管理費(一部) 1,450万円

◇公共施設の照明のLED化(スキー場、末広体育館など)

スキー場整備費(一部) 2億900万円

[3月補正]2億2,120万円

体育施設整備費(一部) 2,820万円

◇町内の街路灯LED化促進のため、無利子貸付制度を創設

公衆街路灯LED化推進費 2,000万円

» 文化・工芸の承継と発展

◇いしかわ百万石文化祭2023 プレイベントの開催

いしかわ百万石文化祭2023開催準備費 500万円

◇家庭や店舗における九谷焼の利用促進(購入費補助)

九谷でおもてなし推進費 300万円

◇九谷芸術祭の開催、セラボクタニを拠点とした九谷焼の発信

こまつ五彩ブランド推進費 2,890万円

◇歌舞伎文化の継承と発展(お旅まつり、日本こども歌舞伎まつり開催など)

お旅まつり開催費 3,060万円

歌舞伎のまちこまつ推進費 1,590万円

子供歌舞伎勸進帳上演費 665万円



家庭や店舗での九谷焼利用を促進



未来型図書館の整備に向けて基本構想を策定

⑥ ワンランク上の生活空間あふれるこまつ

» 人生を楽しむためのまちの機能充実

◇未来型図書館の基本構想策定、図書館サポーター養成など

未来型図書館づくり推進費 750万円

◇地域ファシリテーター育成、地域協議会への支援

町内会等活動・施設整備支援費(一部) 1,750万円

